

自治体・協議会名	松阪市地域公共交通協議会
評価対象事業	地域内フィーダー系統

## 二次評価結果

### 評価できる取組

- ・新たな利用者の獲得や公共交通に係る認知度向上などを旨とし、市内を運行する路線バスやコミュニティバスの運賃無料デーの継続的な実施やイベントとのコラボレーションなど、利用のきっかけ作りやPRに具体的に取り組まれていることを評価します。
- ・地域の利用状況や意見及び特性などに応じ、市営バス(鈴の音バス)のルート変更やデマンド交通の導入など、継続的に見直しや改善に取り組まれていることを評価します。
- ・自治会が主体となった公共交通の確保の推進や市への転入者を対象としたバス路線図の配布など、地域の公共交通を「みんなで支える」意識の醸成に努められていることを確認しました。

### 期待する取組

- ・山間部へのデマンド交通の導入に関して、地域間幹線系統との乗り継ぎを意識し、運賃の割引施策を検討するなど利用促進に向けた取組を期待します。
- ・公共交通の利用のきっかけ作りやPRについては、バス運賃無料デーなどで得られた実績や知見を踏まえ、利用者のその後の公共交通の利用につながっているかなどの分析・検証の深掘り、鉄道・タクシーなど他の公共交通も含めた利用促進策への発展・拡大に係る検討など、今後の更なる取組につながっていくことを期待します。
- ・市の地域公共交通計画では、達成目標値と計画目標値の2種類の目標値を設定していることから、達成状況の度合いに応じた丁寧な確認・考察を通じ、効果的で持続可能な公共交通サービスが確保維持されていくことを期待します。
- ・市内を運行する地域間幹線系統のうち輸送量が低迷している系統について、引き続き、利用促進や系統維持に向け県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。